

## 魚津市次世代育成支援行動計画推進状況（平成 25 年度）

### 基本方針 1. 子育てを支える地域をつくる

#### ①地域における子育て支援の充実（p19）

##### 〈具体的な取り組み〉

事業名	事業概要	平成 24 年度	目 標	平成 25 年度実績
子育て支援センター事業	未就園児と保護者の集いの場の提供や子育て相談等	継続 ・地域型 2 か所 (※1) のびのび（健康センター内）、あいあい（魚津愛育園内） ・児童館型 3 か所 (ひばり、つばめ、すずめ)	現状維持	継続 ・地域型 2 か所(※1) のびのび（健康センター内） あいあい（魚津愛育園内） ・児童館型 3 か所 (ひばり、つばめ、すずめ)
児童センター	児童・生徒の健全な遊びの場の提供	5 か所 開館日は、週 6 日	継続（休日の開館を検討）	5 か所 開館日は、週 6 日
放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ(学童保育)）	保護者が就労等により放課後留守家庭となる児童の生活の場の提供	12 か所 (359 人) H24. 5. 1 現在	13 か所 (400 人)	12 か所 (358 人) H25. 5. 1 現在
放課後子ども教室事業(※2)	放課後や週末等に子どもたちが安心して活動できる場の提供	・全地区公民館 13 か所 ・小学校 2 か所 (村木・西布施) で実施	継続	・全地区公民館 13 か所 ・小学校2か所 (村木・西布施)で実施

※1 地域型子育て支援センター（のびのび・あいあい）

子育てアドバイザー（助産師や保育士）を配置し、親子の集いの広場や子育ての相談、育児情報の提供を行っている。

※2 放課後子ども教室事業

平成 19 年度から実施。地域の方々に温かく見守られながら定着し、サークル活動などを通して、学年を超えて子どもたちの交流が行われている。

#### ②保育サービスの充実（p23）

##### 〈具体的な取り組み〉・多様な保育サービスの拡充

事業名	事業概要	平成 24 年度	目 標	平成 25 年度実績
延長保育事業	保護者の終業時間までの時間延長	10 園 (公：2、民：8)	継 続	10 園 (公：2、民：8)
病児・病後児保育事業	病気回復期の園児保育	1 か所 (キッズベアー)	継 続	1 か所 (キッズベアー)
一時預かり保育	家庭保育が困難な時の一時利用	全園 (17 園)	継 続	全園 (17 園)
年度途中入園	育休明け、途中就労などに伴う待機児解消	全園 (17 園)	継 続	全園 (17 園)

すこやか保育	0歳児の健康管理のため看護師配置	4園 (魚津、第二、加積、本江)	継続	3園 (魚津、第二、本江)
地域活動事業	保育園の専門機能を地域住民に活用	全園 (17園)	継続	全園 (17園)
障がい児保育	集団保育が可能な障がい児を受入	可能な園児全員受入 (6園)	継続	可能な園児全員受入 (8園)
広域入所	就労支援として市外の居住者を受入	全園 (17園)	継続	全園 (17園)
休日保育	多様な就労の支援として実施	0園	検討	0園

### ③子育て支援のネットワークづくり (p25)

#### 〈具体的な取り組み〉

事業名	事業概要	平成24年度	目標	平成25年度実績
乳幼児施設ガイド	保育に関する情報ガイド	子育て応援マップの配布	継続	子育て応援マップ配布
子育てサロン等代表者連絡会	情報交換や研修会	0回	継続	0回(※1)
児童福祉一般管理事業	子育てに関するガイドブック	子育て応援ガイドブックの配布	継続	子育て応援ガイドブックの配布

※1 子育て支援センターと児童センター型支援センターのスタッフが、一堂に会して情報交換を行った。

### ④ボランティア活動の推進 (p27)

#### 〈具体的な取り組み〉

事業名	事業概要	平成24年度	目標	平成25年度実績
ボランティア情報	ボランティア情報の発信と人材確保	社会福祉協議会で実施	ホームページ作成	社会福祉協議会で実施
ネットワーク構築	人と組織のネットワークづくり	主任児童委員・母子保健推進員情報交換会の開催	ネットワーク構築 人材リスト作成	主任児童委員・母子保健推進員情報交換会の開催
読み聞かせボランティア	図書館、学校で読み聞かせの実施	2ボランティア 合計60回 1,148名参加	継続	2ボランティア 合計60回 1,099名参加

## 基本方針 2. 母と子の健康を支える

### ①子どもや母親の健康の確保 (p30) 〈具体的な取り組み〉

事業名	事業概要	平成 24 年度	目 標	平成 25 年度実績
産後の心の健康 についての支援 (※1)	パンフレットにて情 報を提供 産後の母への質問票 を利用	継続	チラシ配布 周知徹底 保健師訪問時に 質問票を実施	継続
虫歯予防事業教 室	虫歯予防教室とフッ 素塗布の充実	むし歯予防教室 22 回 (※2) フッ素塗布 36 回 (※3) う歯罹患率 20.6% (県平均 21.8%)	継続 フッ素塗布 24 回 (県平均以下) 35.0%	むし歯予防教室 20 回 (※2) フッ素塗布 24 回 (※3) う歯罹患率 18.0% (年度終了時集計)
母と子の健康づ くりを支援する 地域ネットワー クづくり	・乳幼児保健会 ・母乳育児をすすめ る会 ・母子保健推進員連 絡協議会 ・母子訪問担当者研 修会	各会による研修 会の実施 (※4)	現状に応じた子 どもの健康問題 に関する研修会 の充実	各会による研修会の実 施 (※4)

※1 妊娠届出時から産後支援が必要な方の把握に努め、早期から助産師や保健師が関わりを持っている。また、新生児訪問だけでなく2～3か月児を保健師が訪問した時に、母の心の状態を質問票などで確認し、必要な方には母の心のケア相談(主催:厚生センター魚津支所)等を紹介し、厚生センターと連携しながら支援している。

※2 幼稚園・保育園・児童センター等で歯科衛生士を講師として、子どもの歯みがき指導やむし歯予防の生活習慣について話をしている。

※3 1歳6か月児健診受診者の75.4%がフッ素塗布を希望している。歯科医師や歯科衛生士により個別指導が行われるため、むし歯予防の意識向上につながっている。

※4 乳幼児保健会等では、関係機関への感染症情報の提供を定例的に行う。

研修内容	平成 24 年度	平成 25 年度
乳幼児保健会	子どもの感染症と予防接種	—
母乳育児をすすめる会	母乳育児がヒトにもたらしたもの	—
母子保健推進員連絡協議会	予防接種について	アレルギーと赤ちゃんのワクチンについて

### ②「食育」の推進 (p33) 〈具体的な取り組み〉 (※1)

事業名	事業概要	平成 24 年度	目 標	平成 25 年度実績
マタニティセミナー	妊婦とその家族を対象に、妊娠中の栄養についての講話と栄養診断	2 回 (※2)	現状維持	休止 (※2)
4 か月 健診時離 乳食教室	4 か月児の保護者を対象に、離乳食の始め方の講話	12 回	現状維持	12 回

ごっくんルーム	離乳食開始後1か月までの児をもつ保護者を対象に、離乳食のすすめ方の講話	12回	現状維持	12回
もぐもぐ教室	8～10か月の児をもつ保護者を対象に、離乳食のすすめ方の講話	6回	現状維持	6回
パクパク教室	1歳6か月～2歳の保護者を対象に、幼児食への移行について講話	休止	現状維持	休止
栄養相談	乳幼児健診や子育て支援センターでの栄養相談	随時	現状維持	随時
地域での食育活動(親子料理教室等)	食生活改善推進員が地域で食育セミナーを開催	随時	現状維持	随時
未就園児・園児・学童に対する栄養セミナー	食習慣や食育についての講話や調理実習	8回	現状維持	随時
保育園での食育活動	普段の保育に食育を取り入れるとともに、給食だより等で保護者に啓発	随時 (給食だより 年12回)	現状維持	随時 (給食だより年12回)
小・中学校での食育活動	学校給食や学校保健等と連携し栄養の講話を行うとともに、給食だより等で保護者・児童・生徒に啓発	・給食だより 年11回 ・栄養教諭2名配置 ・各学校に出向いての栄養に関する授業や指導等年43回 ・給食時の指導	現状維持	・給食だより年11回 ・栄養教諭2名配置 ・各学校での担任との連携による食に関する指導等 年46回 ・給食時の指導
食育活動の連携	関係機関が連携し、地域への食育のPRを強力に行う	・地場産食材使用による農協漁協職員と連携した料理教室、農作業体験など(小10校)(※3) ・地場産食材使用による給食メニューコンテスト開催及び入賞作品の給食提供(※4) ・PTA等への食育に関する講演等 給食だより年11回	現状維持	・地場産食材使用による農協漁協職員と連携した料理教室、農作業体験など(※3) ・地場産食材使用による給食メニューコンテスト開催及び入賞作品の給食提供(※4) ・PTA等への食育に関する講演等 給食だより年11回

※1 「魚津市食育推進計画」

平成24年3月に「魚津市食育推進計画」を策定し、同年4月から食育の推進を行っている。

※2 マタニティセミナー

対象者数が減少及び妊婦のニーズの変化により、平成25年度から「妊婦さんの集い」とし、食育以外の内容を充実させている。なお、母子健康手帳の発行にあわせ、食育のパンフレットを配布している。

※3 小・中学校での食育活動

学校給食センターに配置されている栄養教諭が核となり、小学校2校で、地域食材の生産・調理体

験を行う食育の取組みをモデル的に実践した。

※4 魚津地場産品給食メニューコンテスト

食育意識の啓発と学校給食の理解を深めるために、小学校5・6年生と中学1～3年生を対象に実施。平成25年度は、優秀作品を学校給食メニューとして、5回学校、保育園、幼稚園の給食に提供した。

③思春期保健対策の充実 (p35)

〈具体的な取り組み〉

事業名	事業概要	平成24年度	目標	平成25年度実績
乳幼児とのふれあい体験	乳幼児とのふれあいや「いのち」についての講話など	東部中学校(※1) (6クラス 210人) 魚津高校(※2) (5クラス 200人)	2中学校で実施	東部中学校(※1) (5クラス 197人)

※1 子育て支援センターのびのび広場で助産師の講義をうけ、乳幼児やその母親とふれあった。

④小児医療の充実 (p37)

〈具体的な取り組み〉

事業名	事業概要	平成24年度	目標	平成25年度実績
乳幼児安全教室	健診での乳幼児への事故防止の講話 事故防止や家庭での応急看護などの講話と実技	12回  2回	維持  4回	12回  2回
予防接種	BCG (新)麻しん風しん混合の接種率の向上 (1期・2期)	BCG 集団接種 12回 個別接種 14人  麻疹・風疹混合(※1) 1期 69.7% 2期 95.4%	個別接種  各 97.0%以上	BCG(※1) 84.7%  麻疹・風疹混合 1期 94.7% 2期 94.5%
(新)チャイルドヘルスマール	市内における感染症情報の配信	週1回配信 登録者数 369人	週1回配信(※2)	週1回配信 登録者数 367人

※1 予防接種

BCGの未接種は、平成25年度から、集団接種から医療機関での個別接種に変更した。子宮頸がん、ヒブ、小児用肺炎球菌ワクチンは、平成25年度から定期接種となった。

※2 「チャイルドヘルスマール」の目標変更

当計画策定時、登録者数を目標としていたが、配信頻度に変更(H24.2.14 少子化対策推進協議会にて承認)。

※ こども医療費助成の拡充

平成25年10月から、こども医療費助成(保険診療本人負担分の助成)について、上限を小学校6年生から中学校3年生までに拡充した。

※ 小児の初期救急医療については、新川医療圏小児急患センター(H17.10月)や富山県小児救急電話相談事業(#8000)(H21.7月)が行われている。

### 基本方針3. 子どもの生きる力を育む

#### ①次世代の親の育成 (p39)

##### 〈具体的な取り組み〉

事業名	事業概要	平成 24 年度	目 標	平成 25 年度実績
子育て学習	高校生・大学生等の子育て学習	2回実施 40 人参加(夏 17 人参加) (冬 23 人参加) (※1)	H26～保育所・幼稚園での子育て講座に移行のため廃止	2回実施 40 人参加予定 (夏 17 人参加) (冬 21 人参加予定)
3歳親子ふれあい村事業	3歳児親子の自然体験	2回実施 夏 親子 18 組 38 人、 高校生等 17 人参加 冬 親子 11 組 23 人、 高校生等 23 人参加 (※2)	参加人数が限られることから、H26 からは、保育所・幼稚園での子育て講座を開催	2回実施予定 夏 親子 18 組 38 人、 高校生等 17 人参加 冬 親子 16 組 33 人、 高校生等 21 人参加予定 (※2)
社会に学ぶ14歳の挑戦事業	中学2年生職場ボランティア体験活動	111 事業所 372 人	継続	115 事業所 391 人

##### ※1 子育て学習

夏はリズム遊び、冬は体操の先生を講師に迎え、子ども達との接し方、遊び方を学び、実技指導を受けた。冬は、平成 25 年 2 月 11 日（3歳親子ふれあい村事業と同時）実施予定。

##### ※2 3歳親子ふれあい村

年々参加申込者が増加し、キャンセル待ちの状況である。沢登りや森体験など自然と関わることで子ども達はたくましくなり、親は子どもを見直す良い経験になったと好評である。また、ボランティアの高校生・大学生と子ども達とのつながりも深まり、将来に向けた、次世代の親育成にも大いに役立っている。

#### ②子どもの生きる力の育成に向けた教育環境等の整備 (p42～43)

##### 〈具体的な取り組み〉

事業名	事業概要	平成 24 年度	目 標	平成 25 年度実績
小学校への円滑な移行のための幼保小の連携	幼児期の教育と小学校以降の教育との円滑な移行を図るため、幼稚園・保育所・小学校間の連携	12 校実施	継続	12 校実施
幼稚園	公立1園 私立1園	3 年保育実施 園児数：99 人	多様な保育体制	3 年保育実施 園児数：88 人
幼児教育相談	就学前の幼児の「発達上の問題」「適応上の問題」「子育ての悩み」に関する相談・支援	にこにこ相談会 相談件数 37 件	にこにこ相談会 月 1 回	にこにこ相談会 相談件数 24 件
教育相談	児童生徒の学習、性格、行動、身体、発達、進路等の教育に関する相談	2 件	継続	12 件
就学相談・特別支援教育相談	本人や保護者の意向を尊重し障害等の状態に応じた適切な就学相談・指導 障害のある児童生徒への教育的支援・専門的助言	9 件	継続	6 件

特別支援スタディメイトの配置	障害の程度や特性に応じた適切な教育が受けられるようスタディメイトの配置と活用	スタディメイト 12名 学習支援員 8名 (実数)	15名	スタディメイト 12名 学習支援員 8名 (実数)
特別支援学級・通級指導教室の開設と活用	障害のある子どもが可能な限り地域の学校で学べるよう新たな特別支援学級の開設「ことば」「こころ」「まなび」の通級指導教室を積極的に活用	小学校 17級 中学校 4級 ことば 2教室 こころ 1教室 まなび 2教室	小学校 15級 中学校 4級 ことば 2教室 こころ 2教室 まなび 2教室	小学校 16級 中学校 4級 ことば 2教室 こころ 1教室 まなび 2教室
適応指導教室「すまいる」の利用	不登校やひきこもり、いじめなどの心の問題のある児童生徒が、カウンセリングや様々な活動を通し、自立できるよう支援	利用者数 10名 すまいる相談件数のべ 49件	継続	利用者数 12名 すまいる相談件数のべ 128件
スクールカウンセラー・カウンセリング指導員、スクールソーシャルワーカーの配置	子どもの心と体の健全やかな育成のため、悩み等への相談体制の充実や教員の相談能力向上 いじめ・不登校等の問題に対する家庭や地域と連携したその未然防止と早期対応	スクールカウンセラー 4名 カウンセリング指導員 2名 スクールソーシャルワーカー 2名 スクールアドバイザー 1名	スクールカウンセラー 7名 カウンセリング指導員 4名 スクールソーシャルワーカー 2名	スクールカウンセラー 3名 カウンセリング指導員 2名 子どもと親の相談員 1名 スクールソーシャルワーカー 2名 スクールアドバイザー 1名
国際理解教育の推進	小学校「外国語活動」完全実施に対応するため、活動指導員あるいは外国語指導助手(ALT)の活用推進	外国語活動指導員 6名 小学校 12校 ALT 2名	継続	外国語活動指導員 7名 小学校 12校 ALT 2名
社会に学ぶ 14歳の挑戦事業	中学 2年生が、職場体験活動や福祉・ボランティア活動等に取り組むことによる規範意識や社会性の向上と将来の自分の生き方を考え、たくましく生きる力の育成	参加生徒数 372名 事業所数 111事業所	継続	参加生徒数 391名 事業所数 115事業所
奨学金制度の活用	能力があるにもかかわらず経済的理由によって修学困難な子どもへの奨学金を貸与	貸与者数 34名	貸与者数 40名	貸与者数 34名
就学援助の周知	経済的理由により就学困難と認められる小・中学生が、支障なく義務教育が受けられるよう、その保護者に対する必要な援助	受給率 小学校 6.9% 中学校 9.5%	継続	受給率 小学校 7.4% 中学校 9.0%

学校安全教育等の推進	警察や地域との連携による交通安全教室や防犯教室の実施など、学校安全教育の推進 登下校時の見守り活動の充実とその助言と指導するスクールガードリーダーの配置	スクールガードリーダー 1名 通学路合同点検の実施 4校	スクールガードリーダー 2名	スクールガードリーダー 1名 登下校中の見守り 12校
------------	---	---------------------------------	----------------	--------------------------------

### ③家庭や地域の教育力の向上 (p45)

#### 〈具体的な取り組み〉

事業名	事業概要	平成 24 年度	目 標	平成 25 年度実績
子どもの権利条例策定事業	子どもの権利保障	策定済	策定済	策定済
子ども会議	子どもの人権を守り、次世代への活力を支援	1 回	継続	1 回
放課後子ども教室事業 (※1)	地区公民館や学校の空き教室で地域の人々が参画し、放課後子ども教室活動を行います。	全地区公民館 13 か所 小学校 2 か所 (村木・西布施) で実施している。	継続 13 地区	全地区公民館 13 か所 小学校 2 か所 (村木・西布施) で実施している。
子育て講演会 (※2)	親学講演会を開催	小学校の就学時健診等で 10 校が実施した。	継続 14 校 (小. 12 ; 中. 2)	小学校の就学時健診等で 9 校が実施した。
P T A 活動	豊かな心をもち、たくましく生きる子どもを育てます。	会員 3,099 人	継続	会員 3,016 人

#### ※1 放課後子ども教室事業

平成 19 年度から実施。地域の方々に温かく見守られながら定着し、サークル活動などを通して、学年を超えて子どもたちの交流が行われている。

#### ※2 H25. 7. 29 「あなたは、どんな親でいたいですか？」講師：吉川佳子氏

H25. 11. 29 「子育て・孫育て・自分育ち～今こそ伝えよう日本人の心～」講師：野口晃男氏

### ④子どもの健全育成 (p47)

#### 〈具体的な取り組み〉

事業名	事業概要	平成 24 年度	目 標	平成 25 年度実績
公民館活動	地域異世代交流等	地区公民館 13 館	継続 地域の特性を生かした交流活動を行う	地区公民館 13 館
スポーツ少年団	野球ほか 13 種目	38 団体 758 団員 加入率 32.7%	45 団体 加入率 45.0%	37 団体 690 団員 加入率 31.2%
総合型地域スポーツクラブ	スポーツ活動を通じた地域コミュニティづくり	3 地域 1 拠点	5 地域 1 拠点	3 地域 1 拠点



児童センター	児童・生徒の健全な遊び場の提供	5か所	継続(休日の開館を検討)	5か所
--------	-----------------	-----	--------------	-----

※ 地域異世代交流

地域の特性を活かした、ご幣作り、灯ろう流し、蝶六踊り、獅子舞などが行われており、郷土芸能を伝承する大切な場にもなっている。スポーツでは、ペタンクやカローリング、パークゴルフなどを行い、高齢者や地域の人、子ども達がふれあい交流している。

**基本方針4. 安心して子育てできる街をつくる**

①良好な居住環境の確保 (p49)

〈具体的な取り組み〉

事業名	事業概要	平成24年度	目標	平成25年度実績
公園・広場点検整備事業	施設の点検・整備	都市公園 27か所 広場 104箇所	継続 点検・整備	都市公園 27か所 広場 103箇所
公園里親制度	公園等の美化・保全ボランティア	22か所	21か所	23か所

②安全な道路交通環境の整備 (p51)

〈具体的な取り組み〉

事業名	事業概要	平成24年度	目標	平成25年度実績
交通安全事業 (魚津駅周辺地区)「バリアフリー・歩行者空間ネットワーク整備」	歩道拡幅整備 視覚障害者誘導用ブロック設置	H23年度で完了	5路線 L=1.2km	—
交通安全施設等整備事業	自歩道の拡幅整備 視覚障害者誘導用ブロック設置	H25年度で完了 L=200m	L=680m	H25年度で完了 L=200m
あんしん歩行エリア事業 (JR魚津駅東方地区)	交通安全総点検に伴う交差点等改善	—	改善箇所 11箇所	—
交通安全施設整備事業	防護柵、道路反射鏡の設置	継続して実施 防護柵 L=60m 道路反射鏡 6カ所	継続して実施	継続して実施 防護柵 L=56m 道路反射鏡 9カ所
交通安全教室開催	幼・保、学校で交通安全教室を開催	1回以上/年 (各園・校にて)	1回以上/年 (各園・校にて)	1回以上/年 (各園・校にて)

③安全・安心なまちづくりの推進 (p53)

〈具体的な取り組み〉

事業名	事業概要	平成24年度	目標	平成25年度実績
防犯灯設置事業	生活道路における道路照明を設置	新設9灯	新設100か所	新設13灯

防犯パトロール 推進事業	各地域における防犯 パトロールの実施	青色回転灯装備 車 6 台	新規装備車 6 台	新規装備車 0 台
-----------------	-----------------------	------------------	--------------	-----------

#### ④犯罪等の被害に対する防止と保護の推進（p55）

〈具体的な取り組み〉

事業名	事業概要	平成 24 年度	目 標	平成 25 年度実績
地域安全運動事業	啓発活動・自主防犯 パトロールの実施	毎月 20 日の犯罪抑止の日、夏期及び歳末警戒期間中における防犯パトロールを実施 (実施団体) ・地区、校下防犯組合 ・子ども見守り隊 ほか	毎月 20 日の犯罪抑止の日・夜間パトロールの実施	毎月 20 日の犯罪抑止の日、夏期及び歳末警戒期間中における防犯パトロールを実施 (実施団体) ・地区、校下防犯組合 ・子ども見守り隊 ほか
子ども 110 番の家の設置	通学路等における非常時に救急を求めることができる家を設置	平成 24 年度 552 箇所を設置 (委嘱)	地区の諸情勢に応じて設置拡大	平成 25 年度 552 箇所を設置(委嘱)

### 基本方針 5. 子育てと仕事の両立を支える

#### ①雇用環境の整備及び啓発（p57）

〈今後の目標—具体的な取り組み〉

事業名	事業概要	平成 24 年度	目 標	平成 25 年度実績
地元企業啓発事業	広報誌等による啓発	改正育児・介護休業法全面施行について、市広報、商工会議所会報等に掲載	継続	元気とやま！子育て応援企業について市広報に掲載(※)
就業支援講座開催事業	子育て終了後の女性の再就職支援セミナー開催	未実施	年 1 回程度開催	未実施

※ 「元気とやま！子育て応援企業」登録制度（富山県事業）

従前の「子育て支援企業エントリー制度」を廃止し、平成 24 年度より実施。市内 17 事業所登録。

#### ②家庭での子育て協力体制の推進（p59）

〈具体的な取り組み〉

事業名	事業概要	平成 24 年度	目 標	平成 25 年度実績
男女共同参画推進研修会	推進員が地区で開催する研修会	市内全域を 2 つのブロックに分けて「地域で育てる男女共同参画」をテーマに事業	継続	市内全域を 2 つのブロックに分けて「地域で育てる男女共同参画」をテーマに事業を実施

		を実施		
男女共同参画推進講演会	市内全域の市民を対象に開催する	男女共同参画プラン推進のための講演会を年1回開催	継続	男女共同参画プラン推進のための講演会を年1回開催
男女共同参画推進機関紙の発行	活動事例の報告	広報誌「明日を拓く」を年1回、全戸配布	継続	広報誌「明日を拓く」を年1回、全戸配布
男女共同参画推進 市民・企業アンケート	市民・企業を対象にアンケートの実施	実施済(※)	調査	実施済(※)
男女共同参画推進基本計画、実施計画の策定	推進条例の条項に基づく計画策定	実施計画に基づき事業が実施されているかどうか進捗状況等を確認	見直し	実施計画に基づき事業が実施されているかどうか進捗状況等を確認

※ 男女共同参画推進基本計画（H23-27）策定のため、平成22年度に実施済み。

## 基本方針6. 子どもと親の生活を支える

### ①児童虐待防止対策の充実（p61）

#### 〈具体的な取り組み〉

事業名	事業概要	平成24年度	目標	平成25年度実績
魚津市要保護児童対策地域協議会	要保護児童の情報共有・適切な連携対応	代表者会議年1回 実務者会議年2回 個別ケース会議5回 検討会議随時	継続	代表者会議年1回 実務者会議年3回 個別ケース会議8回 検討会議随時

### ②子育て家庭の自立支援の推進（p63）

#### 〈具体的な取り組み〉

事業名	事業概要	平成24年度	目標	平成25年度実績
母子家庭自立支援給付金事業	自立支援訓練給付金 高等技能訓練促進費	利用者 5人	利用者 4人	利用者 3人

### ③障害児施策の充実（p65）

#### 〈具体的な取り組み〉

事業名	事業概要	平成24年度	目標	平成25年度実績
療育相談	知的障がい・発達障がいをもつ子どもの相談、指導及び保護者支援（電話含む外来相談）。 保育園・幼稚園等の職員への施設支援。	魚津市立つくし学園で実施 外来相談件数 48件（電話含む） 施設支援 9件 訪問支援 3件	随時	魚津市立つくし学園で実施 外来相談件数 71件（電話含む） 施設支援 12件 訪問支援 1件

児童発達支援センター(※)への併行通園	保育園等の通常保育と併行して児童発達支援センター(※)での療育実施	魚津市立つくし学園に通園する17名のうち、1名が併行通園利用	希望により	魚津市立つくし学園に通園する19名のうち2名が併行通園利用
---------------------	-----------------------------------	--------------------------------	-------	-------------------------------

※ 児童発達支援センター

旧知的障害児通園施設。児童福祉法の改正により、平成24年4月から変更。